東京鋼鐵 株式会社

私達は鉄資源のリサイクル企業です。
限りある地球資源を再生し社会に役立てています。

2011年3月期決算説明会

----目次----------

1. 決算財務ハイライト
2. 販売実績の状況
3. キャッシュ・フローの推移
4. 2012年3月期の業績見通し
5. 普通鋼電炉の状況
6. 当社の方向性
7. 成長戦略
8. 設備投資計画
9. その他附属資料

2011年5月25日（水）
JQ：5448
代表取締役社長　　南　良隆
URL http://www.kohtetsu.jp/

通期　実績概要

操業の全体最適化により増収増益！！

	2010/3月期（前期）	2011/3月期（当期）	増減額	前期比増減率	要　因
					単位:百万円
売上高	11,960	14,952	＋2,992	＋25.0%	営業基盤強化により数量・単価ともに上昇
売上原価	9,734	12,581	＋2,847	＋29.3%	鉄スクラップ価格上昇
売上総利益	2,225	2,370	＋145	＋6.5%	
販売管理費	964	1,015	＋51	＋5.2%	
営業利益	1,260	1,355	＋95	＋7.5%	
経常利益	1,296	1,421	＋125	＋9.6%	計画達成！！
当期純利益	755	783	＋28	＋3.7%	災害損失含むも計画通りの数値

売上高総利益率	18.6%	15.9%	△2.7%	
〃　経常利益率	10.8%	9.5%	△1.3%	電炉業界では依然上位をキープ
EPS（円）	43.39円	45.00円	＋1.61円	
配当（円）	7.0円	8.0円	＋1.00円	

貸借対照表　主要項目比較

将来を見据えた安定した財務バランス！

		2010/3月期（前期）	2011/3月期（当期）	増減額	内　　容
					単位:百万円
資産	売上債権	2,583	3,130	＋547	形鋼販価、数量ともに増加
	棚卸資産	1,355	1,619	＋264	鉄スクラップ価格上昇により在庫金額増
	流動資産	7,439	8,163	＋724	
	有形固定資産	10,228	9,927	△301	設備の維持、保全に注力
	固定資産	10,442	10,389	△53	
負債	仕入債務	2,487	2,219	△268	手許資金を活用し仕入債務圧縮を進めた
	有利子負債	1,210	997	△213	設備投資借入金返済
	流動負債	3,481	3,675	＋194	法人税等の増加
	純資産合計	12,267	12,911	＋644	純利益計上により純資産増加！
	負債・純資産計	17,881	18,552	＋671	
	流動比率（%）	213.7%	222.1%	＋8.4%	
	自己資本比率（%）	68.6%	69.6%	＋1.0%	堅実な財務バランスを維持！
	ＤＥレシオ（倍）	0.10倍	0.08倍	△0.02倍	

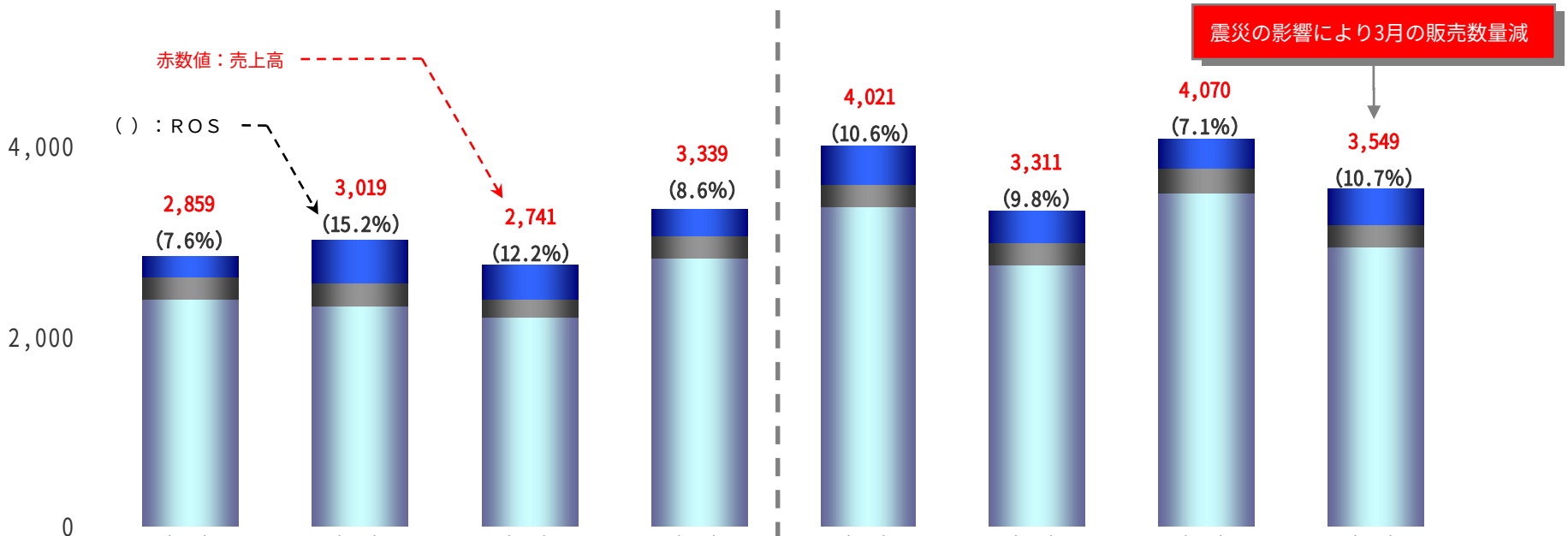
四半期業績推移

前期に引続き、各四半期黒字達成！！

単位：百万円

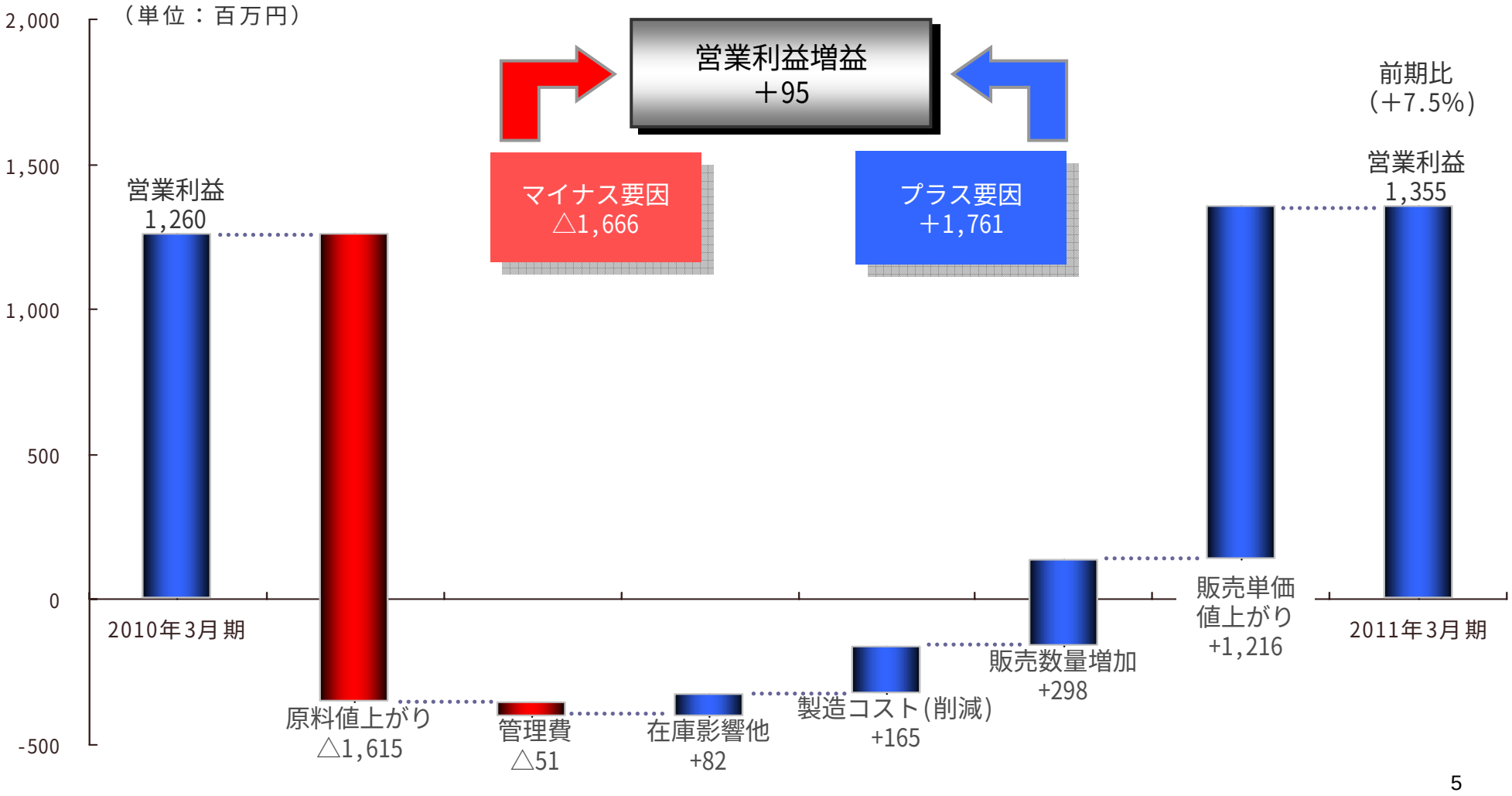
2010/3月期（前期）	
通期売上高	11,960百万円（ROS:10.8%）
上期売上高	5,879百万円（ROS:11.5%）
下期売上高	6,080百万円（ROS:10.2%）

2011/3月期（当期）	
通期売上高	14,952百万円（ROS: 9.5%）
上期売上高	7,332百万円（ROS:10.2%）
下期売上高	7,620百万円（ROS: 8.8%）

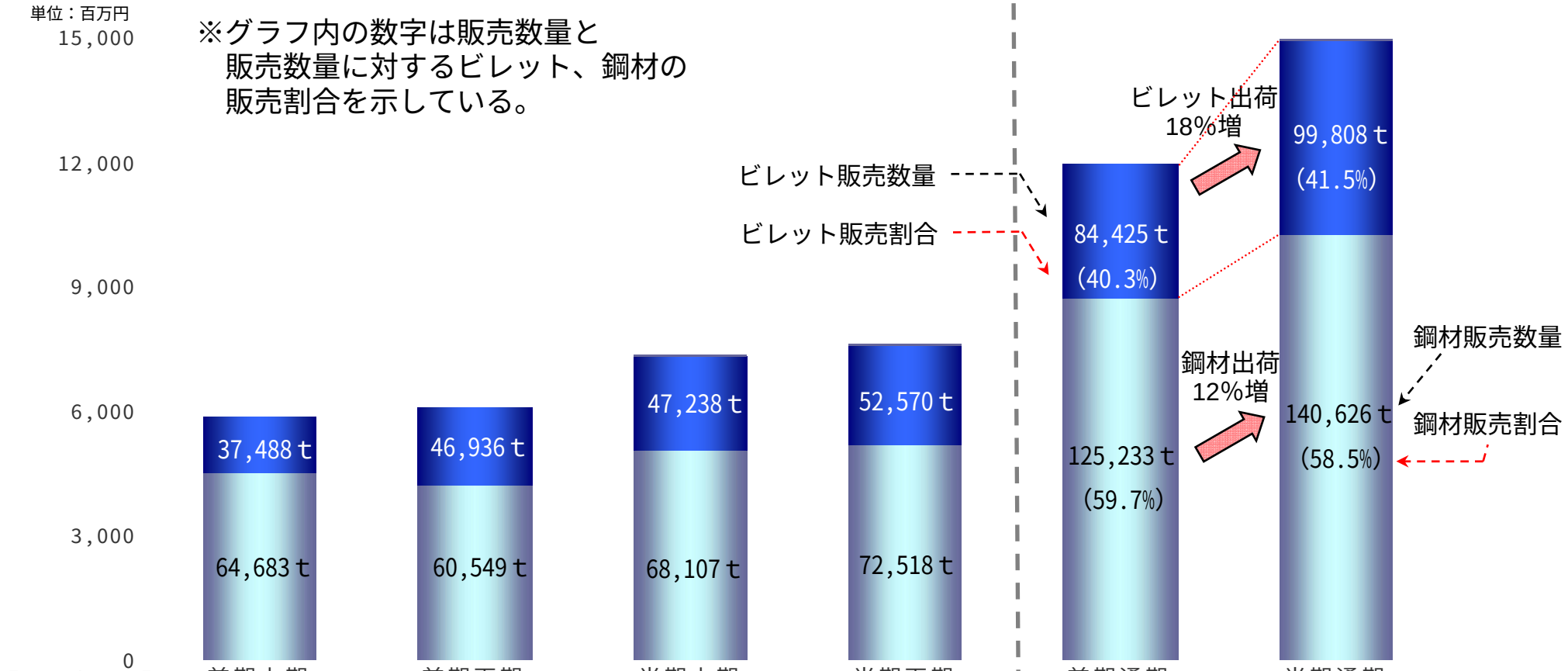


	(1Q)	(2Q)	(3Q)	(4Q)	(1Q)	(2Q)	(3Q)	(4Q)
経常利益	217	459	333	285	425	326	288	381
管理費他	239	243	211	238	238	225	261	226
売上原価	2,403	2,317	2,197	2,816	3,358	2,760	3,521	2,942

営業利益増減分析


（単位：百万円）
2,000
1,500
1,000
500
0
-500
営業利益増益
＋95
マイナス要因
△1,666
プラス要因
＋1,761
前期比
(＋7.5%)
営業利益
1,260
営業利益
1,355
2010年3月期
原料値上がり
△1,615
管理費
△51
在庫影響他
+82
製造コスト(削減)
+165
販売数量増加
+298
販売単価
値上がり
+1,216
2011年3月期

販売実績グラフ（数量と売上）



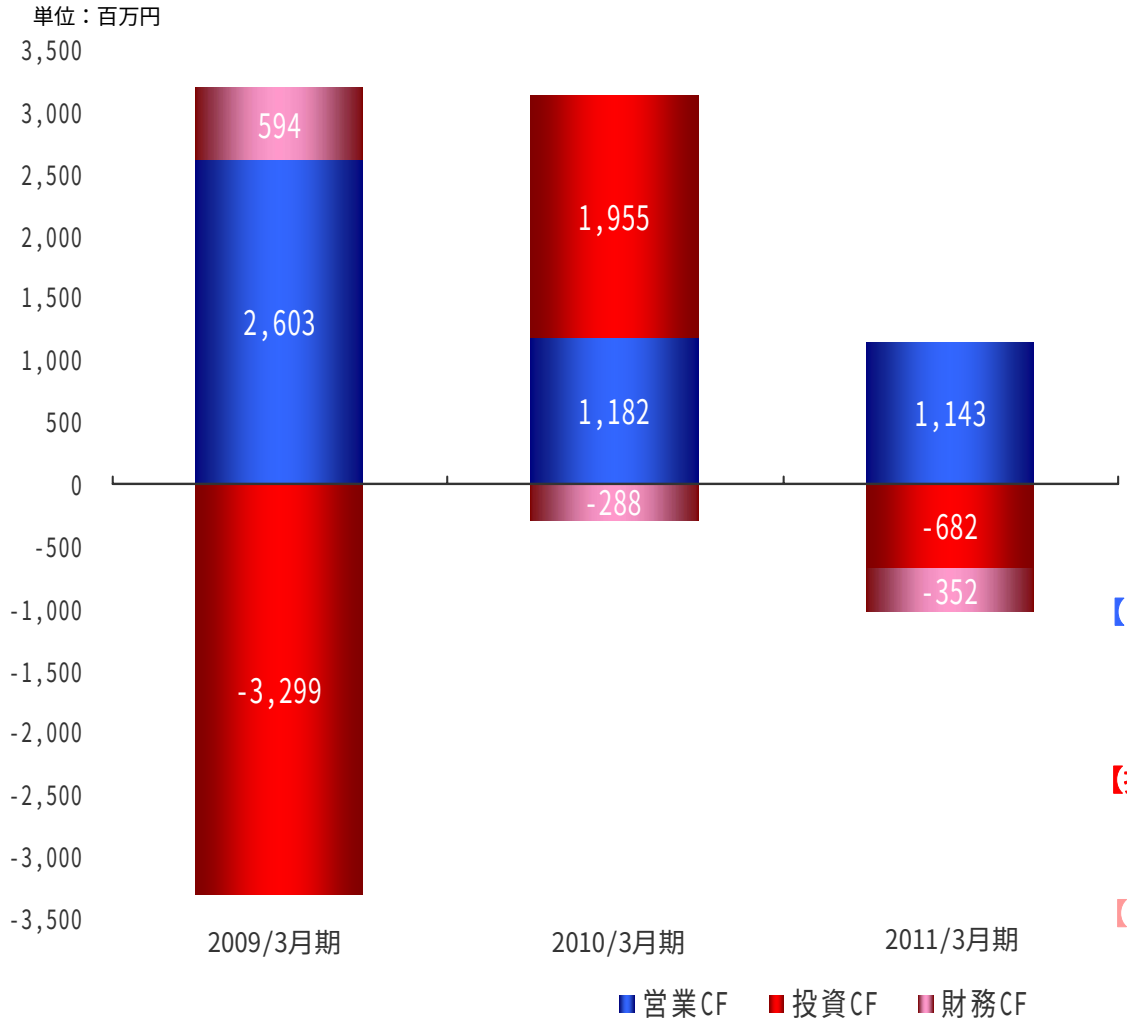
【売上高内訳】

	前期上期	前期下期	当期上期	当期下期	前期通期	当期通期
その他	1	8	19	35	9	54
ビレット	1,368	1,878	2,241	2,408	3,246	4,650
鋼材	4,510	4,194	5,071	5,176	8,704	10,247

＜販売実績の状況＞

キャッシュ・フロー推移

収入に見合った最適な投資・財務支出を目指す



年度別	2010/3月期（前期）	2011/3月期（当期）	増減額（百万円）
営業CF	1,182	1,143	△39
投資CF	1,955	△682	△2,637
財務CF	△288	△352	△64

【営業活動CF】

・利益増加するも、鉄スクラップ価格の上昇により、販売単価、在庫単価も上昇し、売掛金、棚卸資産が増加。その結果、前期とほぼ同等の営業ＣＦの収入となった。

【投資活動CF】

・設備の維持、保全を中心とした投資による支出
満期保有目的債券の取得による支出

【財務活動CF】

・借入金の返済による有利子負債の減少
配当金の支出によるキャッシュ流出

＜キャッシュ・フローの推移＞

2012年3月期業績見通し

夏季の電力需要抑制策、電気総量規制等により操業見通し不透明！

■■■2012年3月期のポイント■■■

1. 東日本大震災による製造設備に与える影響は軽微。

   ※2011年3月期にすでに災害損失による修繕費用を織込み済み（5,719万円）。

   （2012年3月期にずれ込む修繕費用として2,896万円を引当金計上）

2. 加熱炉入替に伴う圧延ラインの操業停止（8月15日～9月21日）。

   4月～6月にかけて形鋼の増産を行い、製品在庫備蓄を行っていく。

3. 電力需要抑制策等により夏季生産状況の見通し立たず。

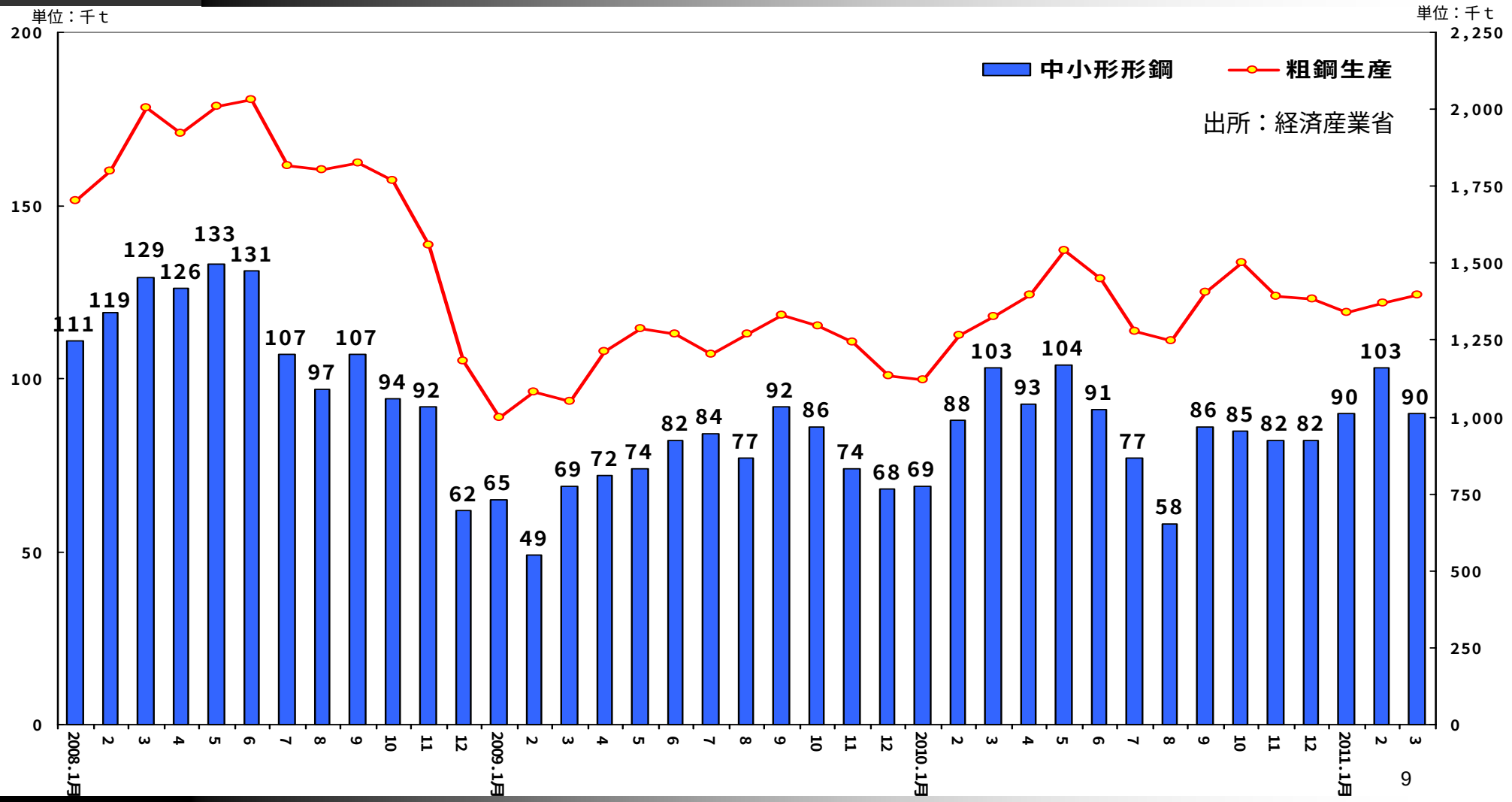
   引続き東京電力から情報収集を行い、不測の事態にならないよう努める。

4. 放射能問題における海外ビレット輸出の影響。

   携帯用測定器等を用いて鉄スクラップの検収強化を行い、混入を未然に防ぐ。

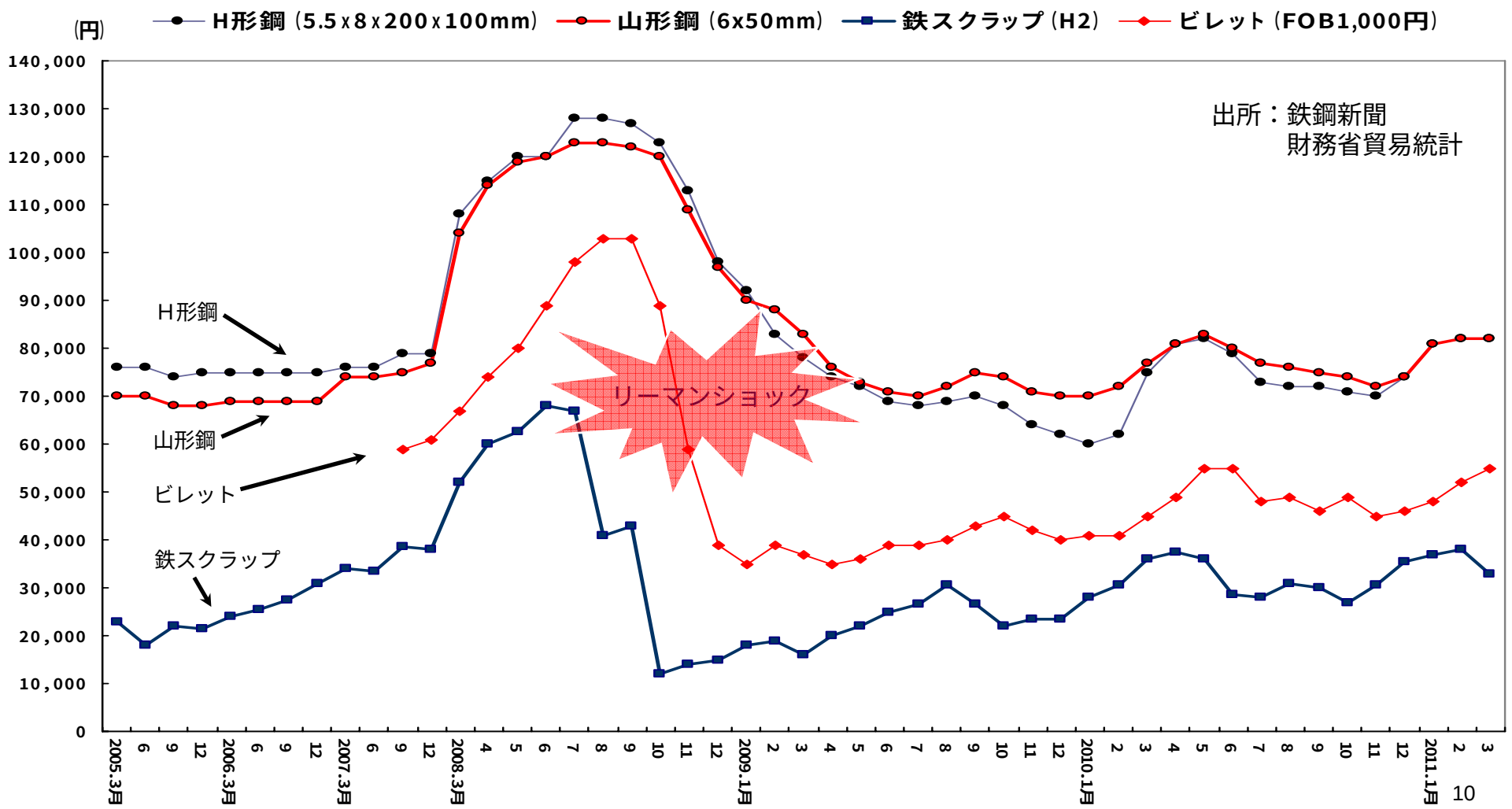
5. 被災地の復興に向けて鋼材の安定供給に最大限注力し、リサイクル会社としての社会的責任を果たすべく、役員・社員一丸となって対処していく。

普通鋼電炉の生産推移（2008.1月～2011.3月）



＜普通鋼電炉の状況＞

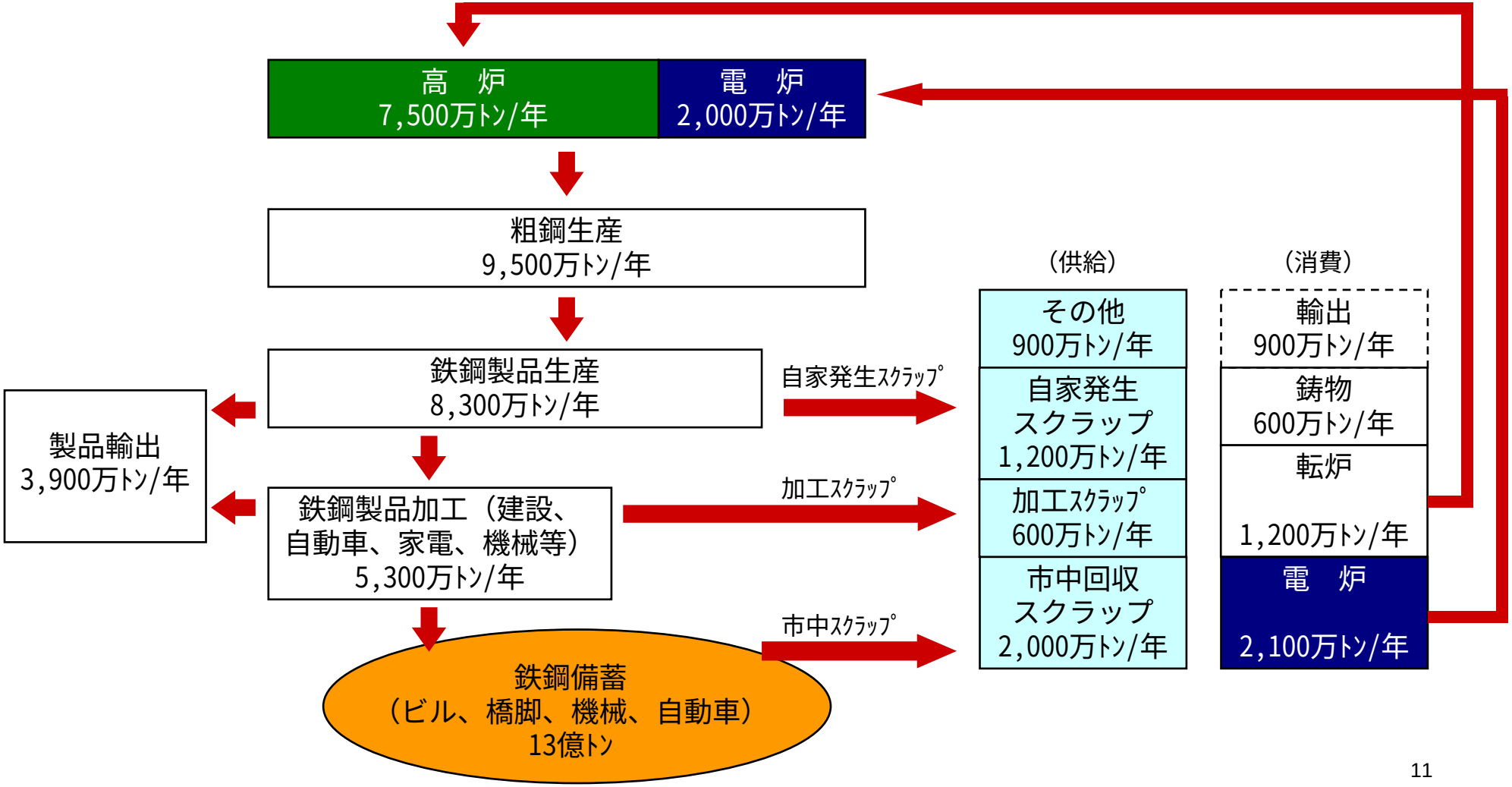
普通鋼電炉関係商品の市況の推移（月末・安値）（東京地区）



＜普通鋼電炉の状況＞

鉄のリサイクルとスクラップの需給バランス（2009年度）

出典：2010年電炉鋼材フォーラム資料を参考にMRIが一部改変して作成（抜粋）



＜当社の方向性＞

今後の成長戦略

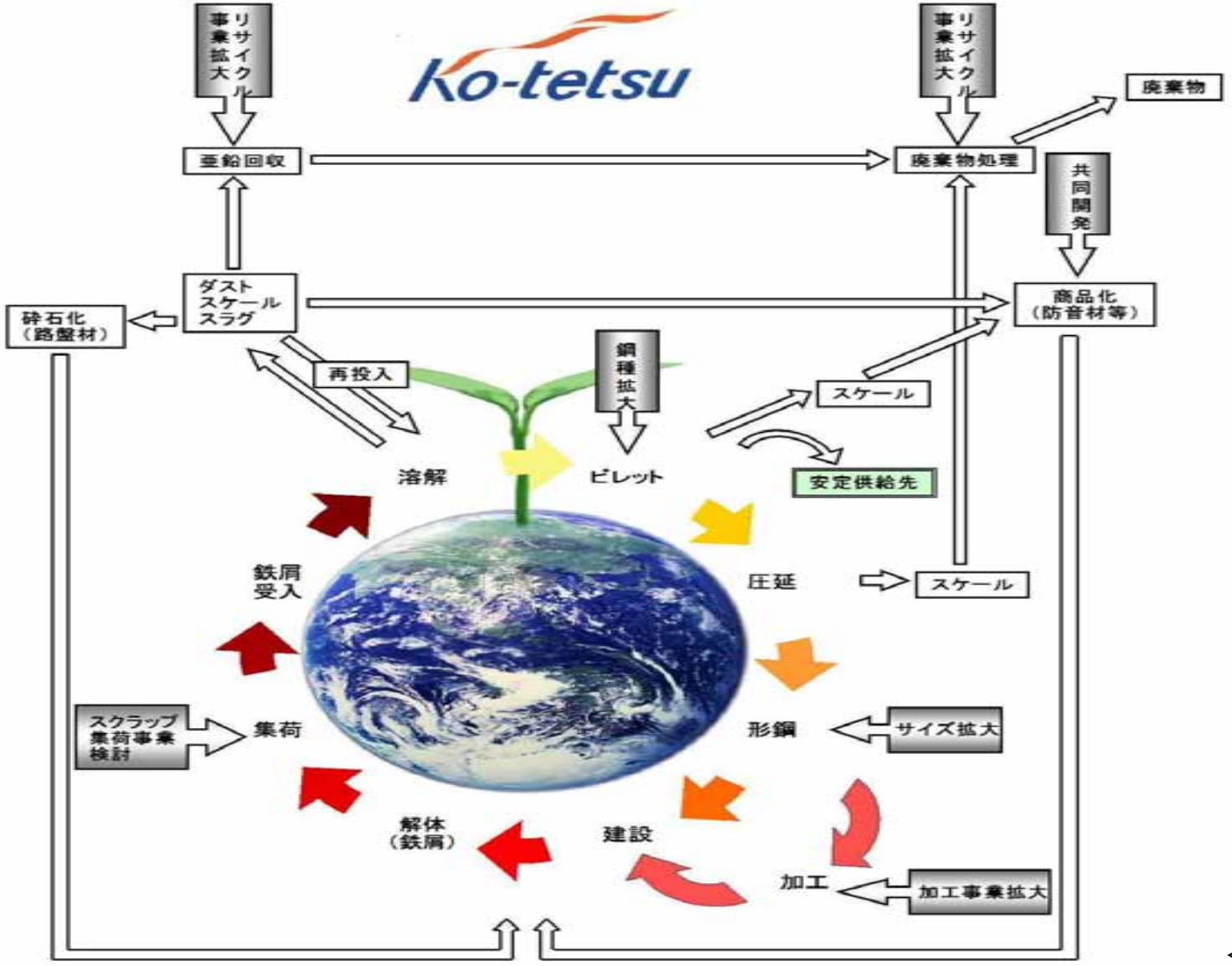
長期ビジョン

【環境に配慮したリサイクル事業を拡大し、持続的に成長する企業を目指す】

《中期経営計画の最終年度における定量目標》

1．売上高経常利益率（ＲＯＳ）　　１５％（持続的に計上出来得る企業体質の構築）

2．全売上に対する新事業売上の比率　　３％（付加価値創造型の新事業）



＜当社の方向性＞

当社の方向性

我が国の電炉業界をとりまく環境

電炉メーカーは鉄スクラップを主原料に、土木・建築向け鋼材を生産

国内の景気が悪化しても
鉄スクラップ価格は下がらない

※経済成長している新興国の資源購入価格が
世界的な資源価格に影響を与えている

国内の建設分野での需要減少

【当社の方向性】

国際標準コスト推進

形鋼用途拡大

海外市場への販売

販売・製造競争力強化

国内需要の下支え・拡大

成　長　軌　道　へ　！　！

成長戦略

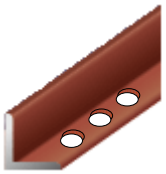
Ko-tetsu

------中期経営計画の進捗状況------

■■■拡販策（需要創造）■■■

★付加価値創造による拡販　⇒　需要家ニーズに基づいた付加価値創造

★鋼種・サイズの拡大
⇒SM490（鋼種）
異型アングル等



★加工品・アングル構造体
（穴あけ、曲げ、塗装、鍍金、
トラス構造、パレットetc..）

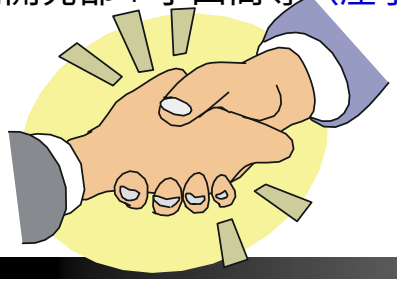
鋼鐵モデル

★短納期・小口配送
⇒中小企業だからこそ対応できる
きめ細かな配送

★定尺外長さ
⇒短尺サイズ、10cm刻みの長さ

★アングルの用途開拓による拡販　⇒　アングルは形鋼のルーツ（始祖）である。
※アングルは何にでも対応可能のはず。

鉄構開発部＋小山高専（産学連携）



・太陽光発電架台・・・当社敷地内に1基設置
・トラス構造のアングル柱・梁
・アングルパレット

太陽光発電架台

※当社アングルを使用（溶融亜鉛メッキ）

太陽光発電架台

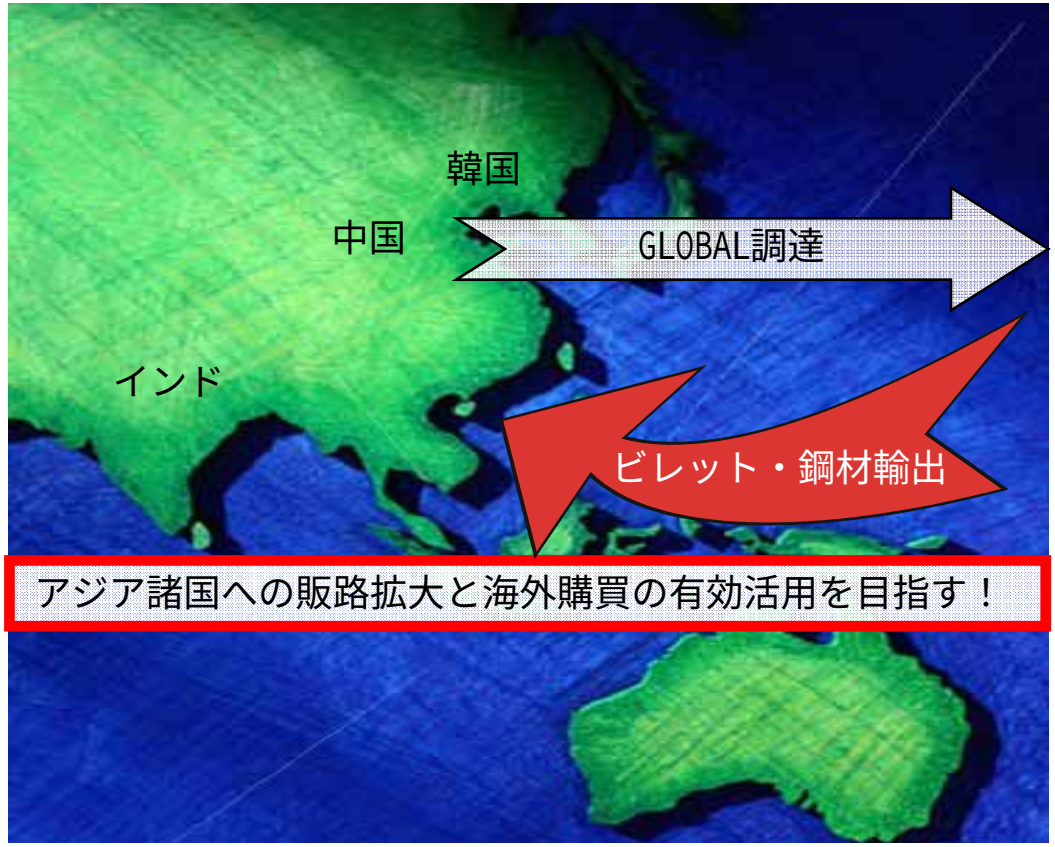
ISO 9001
ISO 14001
認証登録工場
Ko-tetsu
東京鋼鐵株式会
太陽光発電設備用
オリジナル架台
こちらの太陽光発電設備の架台は、
当社製品を使用しています。
ご案内
お問合せは、守衛所まで
お願いいたします。

成長戦略

------持続的に成長する企業を目指して------

■■■国際標準コスト構造の構築■■■

★国際市場での競争力の構築による輸出商内拡大及び輸入鋼材対抗。

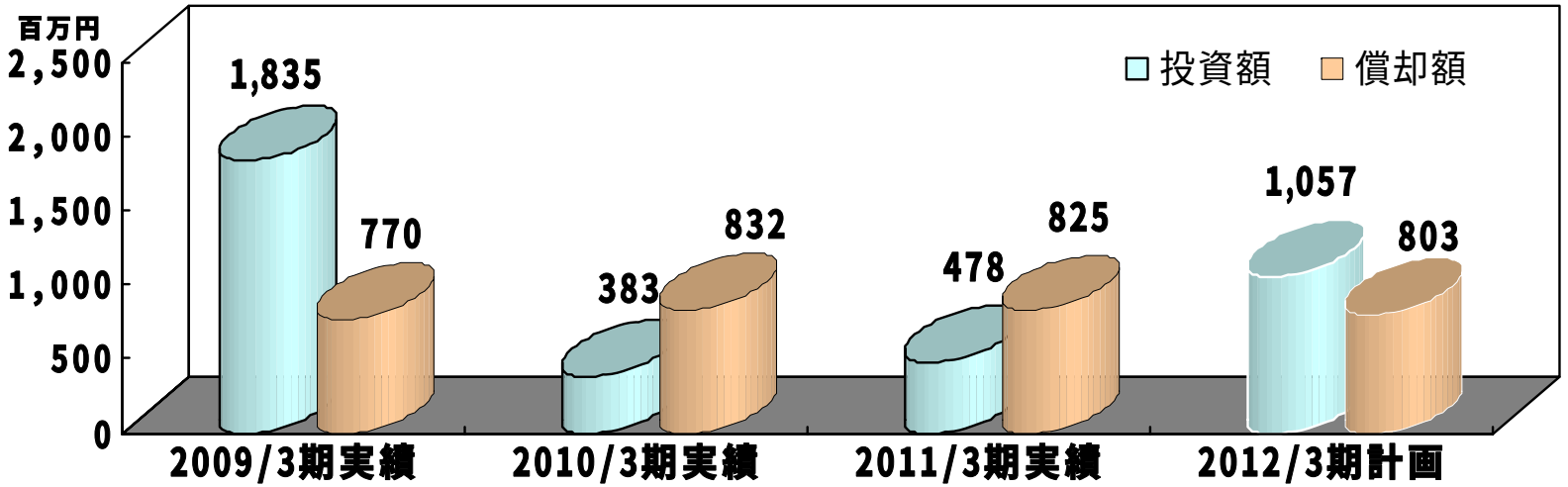


※国内の豊富な鉄スクラップに付加価値をつけて輸出

・鉄スクラップ、合金鉄、石油は国際商品
・副原料・副資材の国際標準価格での購買
　⇒電極、煉瓦類、圧延ロールの輸入調達開始。
・設備類の国際標準価格での調達
　もはや日本国内のみの調達では、
　国際標準価格を目指すことは不可能。

設備投資計画

ＣＯ2削減に向けて環境に配慮した設備投資を実行！

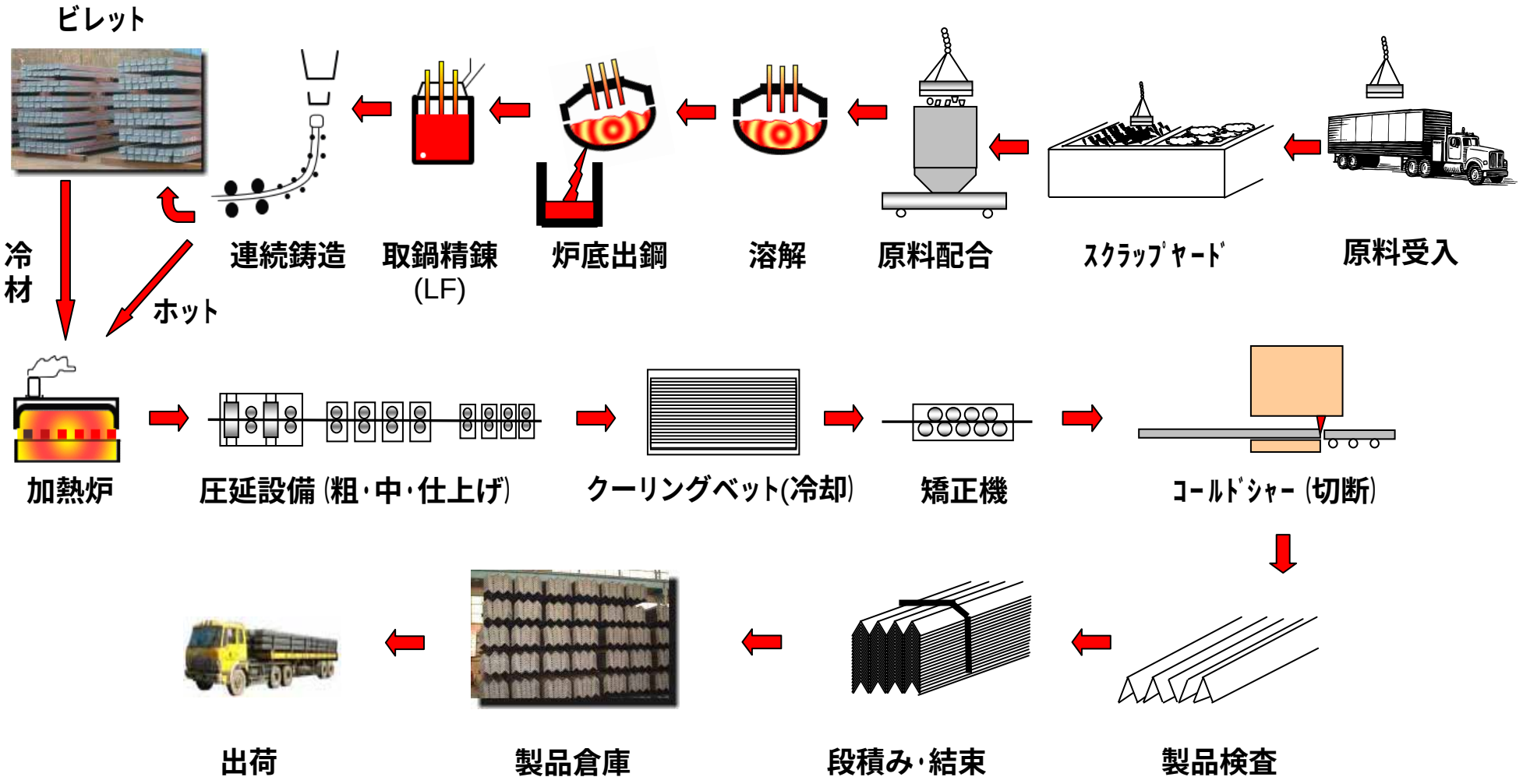


主な設備投資内容

2009/3月期
電気炉設備　9.3億円
（第2期工事）
集塵機　2.0億円

【2012/3月期計画】
※加熱炉ガス化　4.8億円 ⇒ ＣＯ2排出削減へ
圧延ライン改造　1.5億円 ⇒ 多品種・小ロット対応
連続鋳造設備　0.5億円 ⇒
※成長戦略に見合った設備投資を随時実行予定

製造工程図


ビレット
冷材
ホット
連続鋳造
取鍋精錬(LF)
炉底出鋼
溶解
原料配合
ｽｸﾗｯﾌﾟﾔｰﾄﾞ
原料受入
加熱炉
圧延設備(粗･中･仕上げ)
クーリングベット(冷却)
矯正機
ｺｰﾙﾄﾞｼｬｰ(切断)
製品検査
段積み･結束
製品倉庫
出荷

資料取扱上の注意

本資料に掲載しております計画数値や見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて当社独自に予測したものであり,リスクや不確実性を含んでおります。
従いまして、実際の業績はこれと異なる可能性があり、見通しの達成を保証するものではありません。
また、当社の属する普通鋼電炉業界は、鉄スクラップ、副原料等の原料市況をはじめ、製品市況の乱高下の多い業界であります。当業界は潜在的に供給能力が需要量を上回る傾向にあり、さらに海外要因も加わり原料、製品価格の変動により業績が大きく変化する可能性があります。